

# 県議会報告



大分県議会議員  
**宮成 公一郎**  
(竹田市選出)

は年度当初のイベントや総会など、5月には県内各地での所管事務調査、6月の令和6年第2回県議会定例会など慌ただしい毎日を送っています。

6月の補正予算は、全国初となる要介護認定の全ての工程のデジタル化等に係る1億7181万4千円の増額であり、累計6899億7981万4千円となりました。またこの間、新たな長期計画の策定に向けた取組みが進んでいるほか、国土交通省から桑田龍太郎副知事を迎えるなど大きな動きがある中、大分県政に目を向けていただきたいと願っています。

## 令和6年度の議員活動

本年度は新たに議会運営委員に名を連ねるほか、常任委員会は農林水産委員会に所属することとなりました。また、経済活性化対策特別委員会と政策検討協議会の委員として、昨年度から引き続きその役割を担っています。大分県議会の定数は43であり、会派24人の代表として緊張感をもってそれぞれの協議調査に臨んでまいります。

名称	構成人数	内容
議会運営委員会	13人	議会運営・会議規則や委員会に関する条例等・議長の諮問に関する事項の協議
農林水産常任委員会	7人	本会議から付託された議案や請願の審査、農林水産部に関する事項の調査
経済活性化対策特別委員会	15人	経済活動の活性化や産業の基盤強化を図るための緊急・専門的・集中的な調査
政策検討協議会	11人	議員提案による条例制定、政策立案・提言に関する会派間の協議・調整

令和6年度が始まり4月末には県議会議員として活動を開始し1年が経過しました。

県議として2か年目に入り議員活動の幅が広がる中で、4月に

は年度当初のイベントや総会など、5月には県内各地での所管事務調査、6月の令和6年第2回県議会定例会など慌ただしい毎日を送っています。

## 県内所管事務調査の概要

県議会には6つの常任委員会が設置されており、毎年それぞれ県内の所管事務調査を実施しています。

### ○農林水産委員会

5月16日から31日までの間、農林水産委員会として県内6つの振興局等を巡り、管内事業の調査を行いました。

月日	振興局	調査内容
5月16日	北部	①宇佐ジビエファクトリー(院内)、②国営かんがい排水事業駅館川(宇佐)、③災害関連緊急地すべり事業(耶馬溪)
5月17日	西部	④災害関連緊急治山事業「中山地区」(日田)、⑤(株)高橋文夫商店(日田)、⑥キャトルステーション(玖珠)
5月21日	中部	⑦JA南部エリア野津かんしょ生産部会(野津)、⑧農業水利施設保全合理化事業提子井路3期地区(挾間)
5月27日	南部	⑨佐伯広域森林組合(宇目)、⑩渡辺水産(蒲江)、⑪大分佐伯ファーム(蒲江)
5月28日	豊肥	⑫農事組合法人いのうえ(緒方)、⑬(株)アグリ・プロデュース(竹田市中角)
5月31日	東部	⑭るるパーク「大分農業文化公園」、⑮キュウセツAQUA(株)(国東)、⑯防災重点農業用ため池等整備事業「天神・西ヶ迫」(杵築)



年間1600頭超の処理を行う宇佐ジビエファクトリー。食品工場を想起させるほど衛生的な施設。



平成30年、降雨や地震等の前兆現象がない中、突然崩壊し甚大な被害を及ぼした耶馬溪町金吉地区では今も対策工事が続く。



高瀬文夫商店(日田市)は蒲鉾板の製造大手。外材から国産材への転換を図る施設は製材業のイメージとは異なっていた。



輸出やローソンでの販売により10年で5倍の販売額(反収700万円超)の甘太くん。選果場の整備計画を検討中の生産者と意見交換。



工藤三助が計画した提子井路ではコンクリート覆工による水路トンネル工事の調査、由布市挾間町



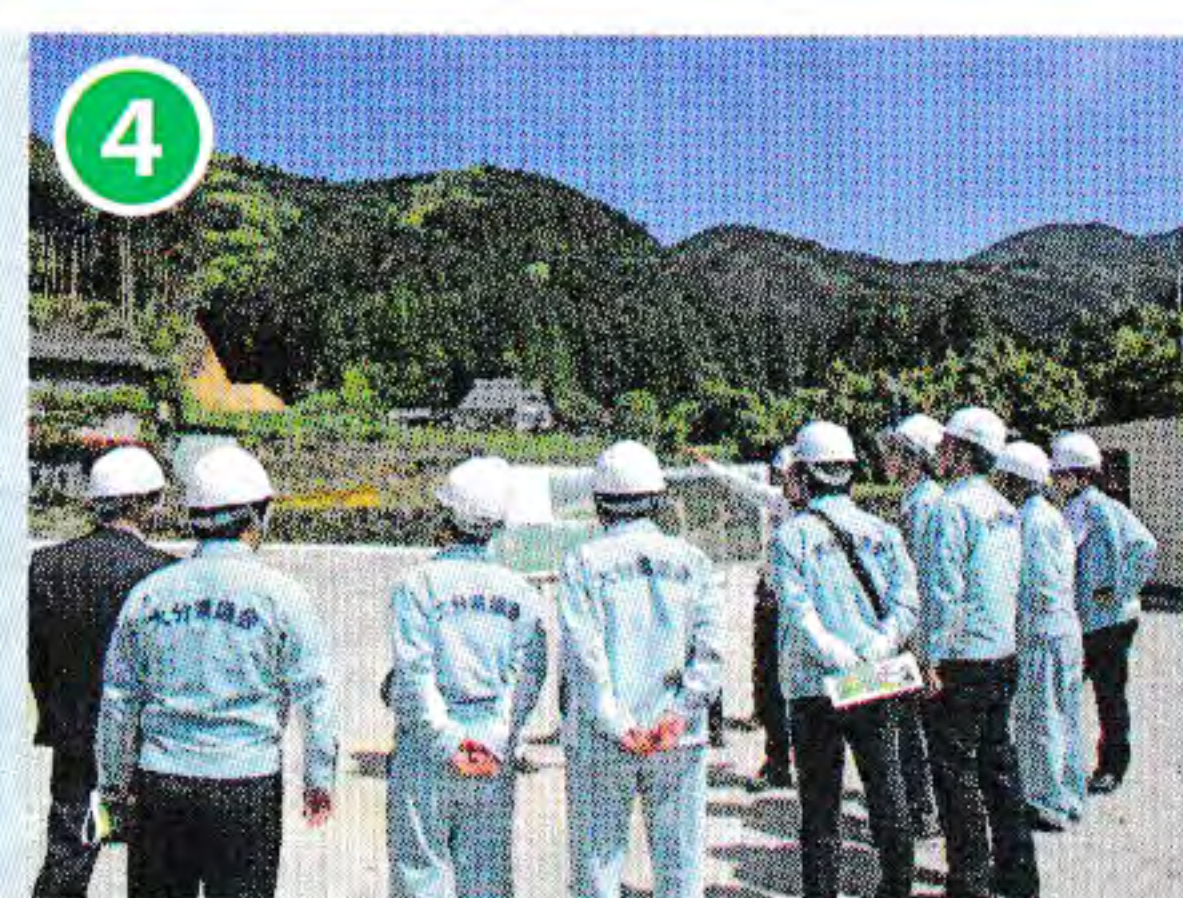
8

久住について県内2か所目となるキャトルステーション(4カ月の子牛を半年間ほど預かり管理・育成する施設)がこの4月玖珠町に誕生。



6

昨年7月豪雨により山腹崩壊し人家に土砂流入、通行不能となった日田市小野(中山)地区の対策工事。



4

世界かんがい施設遺産に認定されている平田井路(宇佐市)は国営かんがい排水事業で老朽化対策を実施。



2

国東市に進出したキュウセツAQUA(株)は22haの国内最大級(!)のオリブ畑を整備中。既にオイル漬けなどの加工品がデパート等で購入可能。



15

令和4年に農業参入した大分大同青果が(株)アグリ・プロデュースを設立。竹田市中角で白ねぎ生産を開始。今後10haまで拡大予定。



13

なんと!日本最大のレモンの作付面積を誇る大分佐伯ファーム。長野県の菓子製造会社の誘致・起業。



11

循環型林業を基礎に儲かる林業を企図しながらツーバイフォー資材の供給も、佐伯広域森林組合



9

ため池の下流には人家や公民館。令和5年度にため池整備完成、杵築市大内「天神・西ヶ迫地区



16

るるパーク(大分農業文化公園)は、近年、四季折々の魅力を伝えるフラワーガーデンやハーブガーデンに加え大型遊具やキャンプ場を整備した人気スポット。



14

農事組合法人いの上は新規就農者を迎えて耕作放棄地にカボス新植、緒方のバイパス傍らの井上地区



12

魚業を取り巻き環境も厳しい。漁船に乗船してぶり、ヒラマサ、カンパチ、シマアジ等の養殖の調査、蒲江町の渡辺水産



10

■先の大戦、全国の戦没者310万人のうち9割以上が昭和19年以降の犠牲者らしい。80年前から1年間のこと。

■100年振りのパリオリンピック。パラリンピックにも注目!争うなら武力でなく議論やスポーツでと願う。

■長期計画の柱は「安心」「元気」「未来創造」。二丁目一番地は「災害に強い県土づくり」と危機管理の強化」。

■今年の夏も暑い!東北地方で豪雨災害も発生。

これから台風シーズンの到来を迎える中、皆様ご用心あれ。



土木建築委員会によるまの進捗状況の調査



福祉保健生活環境委員会による介護DX・シャワーロリー等の調査、岡の苑



となりました。コミュニティ広場 i-meiji (明治)、竹田商工会議所青年部(竹田)、介護老人保健施設「岡の苑」(竹田)、芹川かわまちづくり事業(長湯)、玉来ダムメンテナンス事業(宮城)等が今年度の対象

○豊肥管内調査 竹田市内でも各委員会の調査が行われ、地元県議として可能な範囲で参加しました。



総務企画委員会によるコミュニティ広場 i-meiji の取り組み状況の調査

令和6年第3回定例会は9月4日に開会予定で、9月13日(金)午後1時から宮成の一般質問が予定されています。